

厚真町が 「小中一貫教育」でめざす 子どもの姿

あつまの未来を語れる子

～思いをつなぎ 未来を拓く～

◆中学3年生(15歳)までに重点的に育みたい力◆

① つなぐ力

人と人、人と自然、過去と現在と未来…自分と自分の身の周りの環境(人、モノ、コト、情報…)の良好な関係性を築いていく力、「社会に適応する力」とも言えます。

② 拓く力

「拓く」とは、本来「土地を切りひらいていく」ことを意味する言葉ですが、この言葉には直面する課題に自ら果敢に挑戦(チャレンジ)し、解決していくという意味が込められています。「課題解決力」「課題適応能力」とも言えます。

厚真町が推進する「小中一貫教育」では、最終年度の中学3年生で「ふるさとの未来や自分の将来について深く考え、力強く語ることができる」ことを目指します。

学校や家庭だけでなく、町民の皆さんとともに「目指す姿」を共有しながら、教育活動を進めてまいります。

厚真町教育委員会